

令和2年度進捗評価シート
桑折町歴史的風致維持向上計画（平成28年3月28日認定）
（最終変更平成31年3月31日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画実施のための組織体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 景観行政団体への移行と景観計画策定	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 史跡桑折西山城跡等整備事業	3
2 史跡桑折西山城跡等周辺の誘導路及び駐車場整備事業	4
3 大榎遺跡(万正寺の大力ヤ)周辺整備事業	5
4 桑折宿の歴史的風致形成建造物等に関する修景助成事業	6
5 旧伊達郡役所周辺整備事業	7
6 屋外広告物等の景観に配慮した改善に対する助成事業	8
7 歴史・文化財を活かしたまちづくり推進事業	9
8 歴史・文化財学習講座事業	10
9 歴史案内人育成事業	11
10 小中学生の認識向上推進事業	12
11 周遊性向上・案内板等整備事業	13
12 桃源郷周遊性向上事業	14
13 文化財等保護活動団体及び歴史を活かしたまちづくり団体への支援事業	15
14 地域の文化遺産の調査及び継承支援事業	16
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定など	17
2 文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業、防災に関する取組など	18
3 文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組など	19
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 「来年のサミット誘致宣言」「七色に、初のライトアップ」他	20
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 観光入込客数の推移について	21

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	23
-------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和2年度
計画実施のための組織体制		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 計画を管理する生涯学習課・まちづくり推進課が事務局となり、計画策定時と同様に関係各課で構成する「庁内推進会議」にて連絡調整を行う。また、国や県の関係機関と協議を行い、適切な支援を得る。桑折町歴史的風致維持向上計画推進協議会において、計画推進や変更、事業の実施に向けた協議を行い、事業を推進する。必要に応じ、都市計画審議会や文化財保護審議会、文化財所有者、関係団体などと連絡・調整を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

まちづくり推進課都市整備係と生涯学習課歴史文化係が事務局として、庁内推進会議で事業の実施に係る調整、情報収集、進捗管理等を行った。

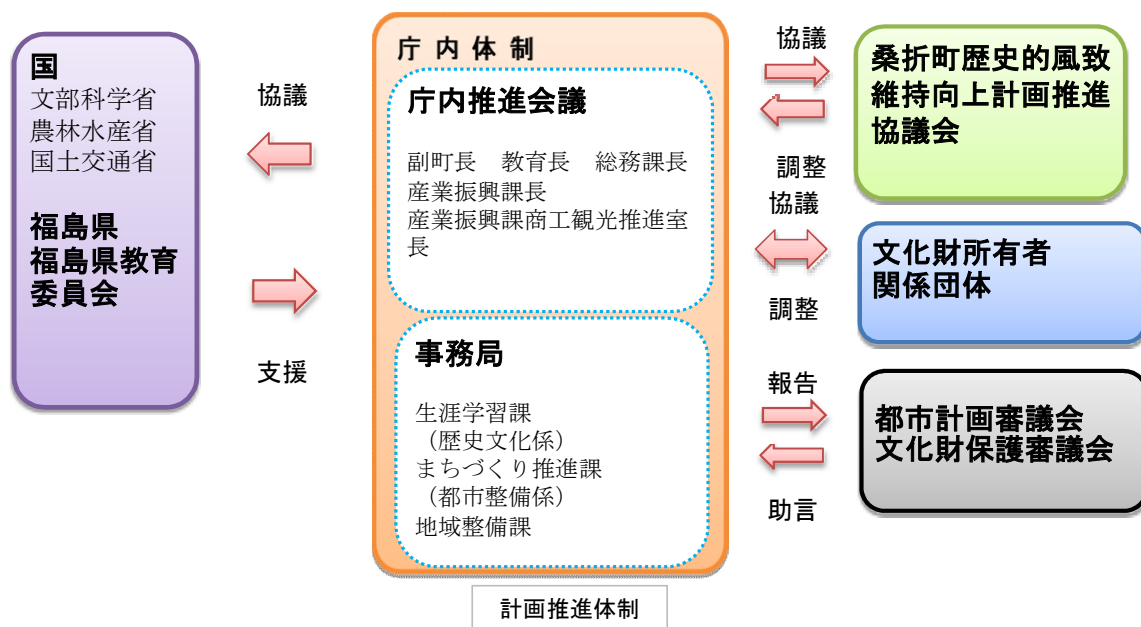
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

庁内体制の中で、担当課の連携を密にし、事業を実施していく。

状況を示す写真や資料等



組織の変更

平成30年度～ 生涯学習課とまちづくり推進課が事務局となる

会議の状況

桑折町歴史的風致維持向上推進協議会

新型コロナウイルス感染症対策のため、書面会議で開催
 庁内推進会議

新型コロナウイルス感染症対策のため、持ち回り会議で開催
 文化財保護審議会 令和2年6月2日

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和2年度
景観行政団体への移行と景観計画策定		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	福島景観計画に沿った規制を行う。また、重点区域内における建築物や工作物の建築・色彩の変更、開発行為その他の土地の形質の変更など一定の行為の制限に、自然と歴史的風致が一体となった良好な景観が形成されるよう町独自の制限を追加するため、景観行政団体への移行と景観法に基づく町独自の景観計画の策定を目指す。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
都市再生整備計画事業で、桑折宿の歴史的町並み景観ガイドライン策定等を検討してきたが、令和3年2月13日の福島県沖地震により、旧伊達郡役所をはじめとする歴史的建造物が再び被災し、解体が検討されている建造物もある。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		景観ガイドライン未策定の状況下で福島県沖地震が発生し、歴史的建造物群が甚大な被害を受けた。旧伊達郡役所復旧工事を最優先に進めるとともに、被災建造物の今後の対応方針について、関係者と検討していく。	
状況を示す写真や資料等			



桑折宿の歴史的建造物調査成果と街道、西根堰



被害の状況(単位:戸)

	戸数	被害あり	うち 解体
町家	18	12	5
石蔵	14	7	5
土蔵	36	31	15
店舗	7	6	3

※解体した建物は赤枠で表示

主な福島県沖地震における被災建造物



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和2年度	
評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況
史跡桑折西山城跡等整備事業	■実施済 □実施中 □未着手
事業期間	平成9年度～令和2年度
支援事業名	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業（文化庁国庫補助事業）
計画に記載している内容	来訪者が戦国時代の山城を体験的に学習し、かつ、城跡からの眺望や自然を楽しみながら憩うことができる場所として、堀・土塁・大手道などの復元や遊歩道の整備、樹木の伐採、伊達氏関連遺跡の解説も含めたガイダンス施設設置などの整備を行う。
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で	
・西館枡形状虎口周辺整備工事 枡形虎口遺構復元・保護整備、遊歩道・階段設置、案内標識設置（解説板1、遺構標柱1，案内表示1） ・ガイダンス施設設置 桑折町老人福祉センター「大かや園」ロビーを活用	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	史跡指定地内の整備が完了。整備された遺構の保存や草刈、道路補修等の維持管理を町民や民間との協働で進めたい。
状況を示す写真や資料等	



西館枡形状虎口 遺構を整備し、園路、階段、案内板を設置



西館枡形状虎口 石積を顕在化し、崩落防止の保護ネットを設置



ガイダンス施設 町老人福祉センター大かや園のロビーに



5年間の整備で建物跡平面表示復元、樹木の伐採による遺構の見通し、眺望の確保、遊歩道、サイン等の施設が完成した。

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
史跡桑折西山城跡等周辺の誘導路及び駐車場整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～令和3年度		
支援事業名	都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金事業)		
計画に記載している内容	史跡桑折西山城跡への道は未舗装となっており、整備が行き届いていない。史跡付近に広い駐車場が無く、アクセス道の道幅は狭いため、バスや大型の車で来訪に対応できないことから、桑折西山城跡整備事業に合わせて町道の改修と駐車場の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・大手口遊歩道整備(階段・安全柵・有害鳥獣防護柵門) ・総合案内板 1基、誘導案内 1基 ・登城口城址碑 1基			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	大手口に遊歩道を整備することができ、観音寺駐車場からのアクセスを完成できた。 主要道路からのアクセス整備を継続		
状況を示す写真や資料等			
 桑折西山城跡大手口の遊歩道整備  桑折西山城跡入口案内サイン 駐車場は観音寺駐車場を活用  桑折西山城跡総合案内板 大手口登城口に設置  桑折西山城跡登城口城址碑 地元の書家網代澄亭氏の揮毫			

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
大榎遺跡(万正寺の大力ヤ)周辺整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成29年度～令和3年度

支援事業名 都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金事業)

計画に記載している内容 桑折西山城跡への大手道の手前に位置する大榎遺跡は、伊達氏関連の遺跡であるとともに、伊達氏関連の言い伝えが残る福島県指定天然記念物「万正寺の大力ヤ」がある。史跡桑折西山城跡の整備に併せ、伊達氏関連遺跡の一つとして、また、城跡へのアプローチの際の休憩場所として整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・既存建物解体撤去(住宅1軒、作業小屋1棟)
- ・大力ヤ周辺整備実施設計作成(枝支柱、広場、案内板、樹木伐採)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

桑折西山城跡整備が進捗し、隣接する大かや園にガイダンス施設が設置されたので、カヤと城跡を結びつける整備を今後行う。

状況を示す写真や資料等



大力ヤ南側にあった住宅を解体撤去



大力ヤの北側にあった作業小屋を解体撤去

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
桑折宿の歴史的風致形成建造物等に関する修景助成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成28年度～令和7年度

支援事業名 都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金事業)

計画に記載している内容 桑折宿内に残っている歴史的建造物のうち、歴史的風致形成建造物について、修理・修景する際の費用の一部を助成し、定期的に一般に公開する。また、未指定の歴史的建造物についても、街道に面している部分を修景する場合の費用の一部を補助する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

桑折宿景観形成のため、桑折宿歴史的町並み景観ガイドラインの検討してきたが、福島県沖地震により再び歴史的建造物が被災し、所有者により解体の意向がある建造物が出てきた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	福島県沖地震により被災した歴史的風致形成建造物候補群については、所有者の意向により解体予定建造物があり、今後の対応方針について、関係者と協議を進める。

状況を示す写真や資料等



歴史的風致形成建造物指定を予定していた旧安達屋



歴史的風致形成建造物指定を予定していた旧丸屋



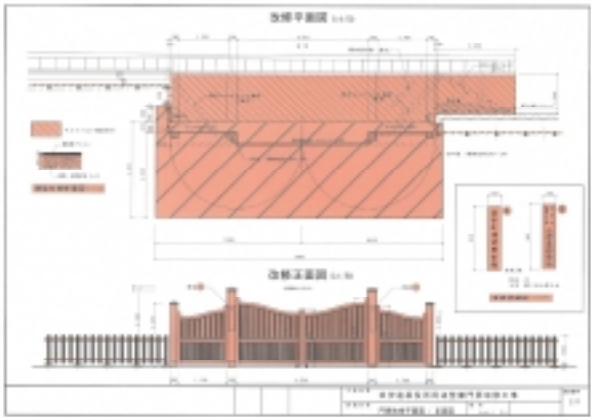
2月14日福島県沖地震により、旧伊達郡役所が再び被災

歴史的建造物の被災

歴史的風致形成建造物候補 町家 4軒、山門 1棟、五輪塔 1基
 重要文化財建造物 旧伊達郡役所 1棟
 町指定文化財 早田伝之助邸 1軒
 文化財等収蔵施設 桑折町種徳美術館 1棟

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
旧伊達郡役所周辺整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成31年度～令和7年度	
支援事業名	都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金事業)	
計画に記載している内容	旧伊達郡役所の周辺について、道路の美装化や無電柱化(地中以外の手法を含む)。旧伊達郡役所の柵やトイレの改修など良好な町なみを維持できるよう、景観に配慮した整備を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・門・周辺塀柵改修工事設計作成(明治期の写真を参考に景観再現)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	令和3年2月13日の福島県沖地震により、旧伊達郡役所本体と隣接する種徳美術館が被災した。再開に向けた旧伊達郡役所とその周辺のあり方を検討した上で、適切な修理が必要になっている。	
状況を示す写真や資料等		
 旧伊達郡役所 重要文化財として保存修理を経て昭和54年に整備された門扉塀柵が老朽化している。  明治後期～大正のころの郡役所 木製の扉と柵が廻る。塔屋は明治20年(1887)に撤去されていた		
 旧伊達郡役所周辺整備事業設計図 古写真に基づき、門・塀・柵を明治時代の景観を再現。		

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
屋外広告物等の景観に配慮した改善に対する助成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成29年度～令和7年度

支援事業名 都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金事業)

計画に記載している内容 重点区域内の歴史的風致を形成する建造物等の周辺に存在する屋外広告物のうち、歴史的風致の風情を阻害する屋外広告物を景観に配慮したものに改修する場合、費用の一部を補助する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

桑折宿景観形成のため、桑折宿歴史的町並み景観ガイドラインの検討してきたが、未策定のまま福島県沖地震により歴史的建造物が被災し、景観形成について見直しを図る必要が出てきた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☐計画どおり進捗している
☒計画どおり進捗していない

景観ガイドライン未策定の状況下で福島県沖地震が発生し、歴史的建造物群が甚大な被害を受けた。今後の方針について、関係者と協議を進め、事業の見直しを行なう。

状況を示す写真や資料等



桑折宿北町の景観
蔵造りの歴史的建造物が被災した

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
歴史・文化財を活かしたまちづくり推進事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成28年度～令和7年度		
支援事業名	町単独事業・福島県サポート事業		
計画に記載している内容	歴史や文化財を活かしたまちづくりや街並みや桃源郷の風景などの景観の維持・向上に関する住民向けの講演会やシンポジウムを開催する。また、史跡桑折西山城跡の完了後、「全国山城サミット連絡協議会大会」の誘致を目指す。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年10月12日 全国山城サミット桑折大会プレ大会「桑折西山城ライブ2020」(町内限定700名参加、配信再生3,700回) 令和2年8月28日～9月2日 「エール」ご当地巡回展(於 旧伊達郡役所、500名来場) 令和2年9月15日～12月13日 桑折町種徳美術館企画展「伊達氏の城」(1,000名来場) 令和2年12月21日～令和3年1月4日 エールプロジェクト第2弾「旧伊達郡役所ライトアップ・イルミネーション」			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		「全国山城サミット桑折大会プレ大会」を開催し、「本大会」に向け、町民意識の向上を図ることができた。また、桑折西山城跡、旧伊達郡役所を活用した企画展を開催し、多くの方に親しんでもらうことができた。	
状況を示す写真や資料等			
 令和2年9月12日 全国山城サミット桑折大会プレ大会「桑折西山城ライブ2020」 コロナ禍のため、町民限定として開催 YouTubeによりライブ配信を実施		 令和2年8月28日～9月2日 「エールご当地巡回展」旧伊達郡役所で開催 福島県出身の作曲家古関裕而をモデルにしたNHK連続ドラマ「エール」の巡回展を誘致し、町独自の企画として、町内外に残されていたゆかりの資料を併せて展示	
 令和2年9月15日～12月13日 桑折町種徳美術館企画展「伊達氏の城」 山城サミット桑折大会プレ大会に合わせ、桑折西山城跡と伊達氏関連城館・遺跡の資料を展示		 令和2年12月20日～令和3年1月4日 エールプロジェクト第2弾「旧伊達郡役所ライトアップ・イルミネーション」 旧伊達郡役所を色彩ライトアップとイルミネーションで活用。ジャズミニコンサートも開催	

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
歴史・文化財学習講座事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成28年度～令和7年度

支援事業名 町単独事業・福島県サポート事業

計画に記載している内容 本町の歴史的風致への理解を求め、地域住民を対象に本町の歴史や文化財に関する学習講座を開催する。また、桑折町文化財保存会と連携しながら町内の小・中学生を対象に出前講座や現地説明会等を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年10月12日 全国山城サミット桑折大会プレ大会「歴史トーク」「歴史散歩」

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	令和3年度の「全国山城サミット桑折大会」開催に向け、町民意識の向上を図った。史跡桑折西山城跡については、サミット後、実行委員会を「守る会」組織に改組し、史跡の保護、管理、活用を協働で担う体制を構築していく。
状況を示す写真や資料等	



「全国山城サミット桑折大会プレ大会」スペシャル歴史トーク
城郭考古学者・千田嘉博氏の講演



「全国山城サミット桑折大会プレ大会」歴史散歩
桑折町歴史案内人の案内により、桑折西山城跡を一周



半田釺芳小学校総合学習
郷土史家の案内で半田銀山遺跡ほか地域の歴史遺産を学習

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
歴史案内人育成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成28年度～令和2年度	
支援事業名	町単独事業	
計画に記載している内容	本町を訪問する観光客や小中学生の児童・生徒に対し、本町の歴史や伝統文化、町並み、観光スポットなど本町の魅力について語ることができる人材を育成するため、案内人の養成・研修を目的とした講習や現地視察等を実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
・歴史案内人育成講座 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点と、悪天候、地震の影響から本年度は実施できなかった。 ・歴史案内人活動 実績 案内団体数 8団体(総計270人) 案内人出勤数 18人		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	本年度はコロナ禍と地震の影響により未開催。事業期間は終了するが、今後も取組みを継続していく。案内人の活動は順調である。	
状況を示す写真や資料等		



令和2年10月12日
全国山城サミット桑折大会プレ大会で案内する歴史案内人



令和2年11月14日
JR小さな旅を案内
桑折駅～追分～大安寺(写真)～旧伊達郡役所～陣屋の
杜公園～諏訪神社～伊達朝宗の墓所～桑折寺～桑折宿
の街並み～無能寺～桑折駅

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
小中学生の認識向上推進事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成28年度～令和7年度	
支援事業名	町単独事業	
計画に記載している内容	町内の小中学校と協力しながら、後世への伝承者である小中学生に本町の歴史や文化遺産に関する知識を持ってもらうため、桑折町を総合的にかつ分かりやすく説明する教材を作成するとともに、桑折町文化財保存会やボランティアガイドと連携し、実地説明を行うなど、子供たちが体験しながら学べるような授業を開発する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
町内小中学校の学習に町歴史案内人や学芸員を派遣して歴史学習や史跡案内を行った。 ・令和2年6月23日 睦合小学校6年生 桑折西山城跡の歴史 ・令和2年7月1日 伊達崎小学校6年生 総合学習 伊達崎城跡について授業と見学 ・令和2年7月27日 半田釀芳小学校6年生 桑折西山城跡社会科見学		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	本年は、各学校において、「桑折西山城跡」を総合学習のテーマにしたカリキュラムを組んだ。歴史案内人や町学芸員が学校側と連携し、郷土学習を継続させ、子どもたちと共に学んでいく機会を増やしていきたい。	
状況を示す写真や資料等		
 令和2年7月27日 「全国山城サミット桑折大会」開催に向け、町内各学校で「桑折西山城跡」を総合学習で取り上げた。  令和2年6月26日「半田釀芳小学校6年生総合学習」 地元郷土史家の案内で半田銀山跡を見学  令和2年7月1日 伊達崎小学校6年生総合学習 町学芸員より、地元の「伊達崎城」について授業を受け、現地で見学 桑折町歴史案内人による旧伊達郡役所・桑折町種徳美術館の見学案内 令和2年5月21日 半田釀芳小学校 旧伊達郡役所・種徳美術館 令和2年9月29日 釀芳小学校 旧伊達郡役所 令和2年10月6日 睦合小学校 旧伊達郡役所・種徳美術館		

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
		現在の状況	
周遊性向上・案内板等整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成28年度～令和7年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	町民や来訪者が、歴史的建造物や文化財等を楽しみながら効率よく巡ることができる散策ルートを検討・設定する。併せて、今後作成する案内板等の作成基準となる統一デザインを定めるとともに、散策ルートに合わせた案内板や案内標識、説明板の新設や更新を行う。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
・史跡桑折西山城跡と周辺に解説板や総合案内板、城址碑を設置 ・町民からの寄付を活用し、老朽化した文化財標識の更新「奥州・羽州街道の追分標柱」			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		案内板の維持管理をしながら利用できるものは引き続き利用していく。 国道4号から桑折西山城跡までの誘導看板整備、うぶかの郷からの案内表示設置、城内簡易案内板の設置	
状況を示す写真や資料等			



桑折西山城跡西館解説板
西館枅形状虎口の整備に合わせて設置



桑折西山城跡総合案内板
大手登城口に設置



奥州・羽州街道追分の標柱
黒ずんで読めなくなっていたものを復旧。町民の寄付を活用。

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
桃源郷周遊性向上事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間	平成29年度～令和3年度
支援事業名	都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金事業)
計画に記載している内容	阿武隈川氾濫原の果樹畑(桃源郷)を印象的に体験できる周遊ルートの検討や案内看板の設置、駐車場・展望スペースなどの周辺環境の整備など、阿武隈川と一体となった桃源郷の周遊性の向上を図る事業を行う。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
「桑折地区かわまちづくり計画」事業として、桃源郷巡りの拠点となる老朽化した桃の郷トイレを改修 ・周辺駐車場等環境整備、ピット改修、多目的トイレ設置、洋式化 ・河川敷内に国土交通省による広場整備に合わせて整備することにより、「かわ」と「桃源郷」を結び付けた。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	整備内容を桑折地区かわまちづくり検討委員会で決定し、今後の活用や維持・管理に地元住民の協力をもらいながら実施していきたい。
状況を示す写真や資料等	

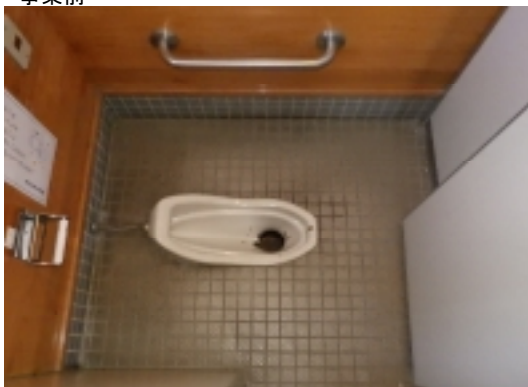


桃の郷トイレ改修事業
桃源郷入口にある桃の郷トイレと周辺の駐車場を改修(阿武隈川堤防上からの景観)



桃の郷トイレ改修事業
多目的トイレを設置し、利便性を図った

事業前



事業後



桃の郷トイレ改修事業
不評であった和式トイレを洋式化

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
文化財等保護活動団体及び歴史を活かしたまちづくり団体への支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和42年度～令和7年度	
支援事業名	町単独事業	
計画に記載している内容	文化財等の保存・活用に関わっている団体や歴史を活かしたまちづくり団体と連携しながら、本町の歴史や文化財保護等の啓発を行う活動や後継者育成のための事業などの支援を行う。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
補助対象 桑折町文化財保存会(1団体、1件) 老朽化した看板更新、福島県沖地震被災文化財(未指定含)の復旧 保存団体支援 「全国山城サミット桑折大会プレ大会」桑折若連協議会公演(令和2年10月11日) 桑折町商工会「伊達氏ルーツと桑折宿探検ツアー」全4回、50名参加(「道・絆プロジェクト2020」と連携)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	関係団体とさらに連携を密にしながら活動や事業の支援を進めていきたい。全国規模の大会等で本町の伝統芸能の発表機会をつくることで発信し、後世に継承する意識の醸成を図りたい。	
状況を示す写真や資料等		
   福島県沖地震で倒壊した伊達朝宗墓所を文化財保存会が復旧   「全国山城サミット桑折大会プレ大会」 桑折若連協議会が伝統芸能の京都祇園囃子を披露 文化財保存会案内板修理事業 老朽化して見えにくくなった文化財案内標柱を更新(播磨館跡)		

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
地域の文化遺産の調査及び継承支援事業			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	調査：平成28年度～令和2年度 継承支援：平成28年度～令和7年度		
支援事業名	町単独事業		
計画に記載している内容	町内には詳細な調査・研究がされてこなかった歴史的建造物や文化財、祭礼などの文化遺産が多く残っている。それらの総合的な把握と記録保存などの学術的な調査を行い、データベース化を図る。併せて、活動ができるよう、伝統的な用具や衣装の修繕や担い手育成などの活動に対して、調査に基づく支援を適正に行う。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
桑折若連協議会に全国山城サミット桑折大会プレ大会で京都祇園囃子を披露してもらい、ライブ配信を通じて全国に放映した。			
桑折町種徳美術館企画展や旧伊達郡役所展示に先立ち、町内外の考古・文献・民俗資料を調査。			
史跡桑折西山城跡ガイダンス施設に展示するため、考古資料等、城跡に関する資料を再調査し展示。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	京都祇園囃子保護団体の連絡協議団体であった桑折町祇園ばやし振興会が解散したため、今後個別の保護団体へ支援が必要となる。調査は継続して実施。		
状況を示す写真や資料等			



桑折若連協議会が「全国山城サミット桑折大会ブレ大会」で京都祇園囃子を披露



収蔵庫に眠っていた蓄音機を修繕し、旧伊達郡役所「エール巡回展」で展示



桑折西山城跡や関連遺跡の出土遺物を再整理し、史跡桑折西山城跡ガイダンス施設で展示

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定など		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 これまでの調査・研究を活かし、現状及び実態の把握に努め、リストアップしデータベース化する。文化財指定がふさわしいと判断されたものについては、指定に向け取り組む。歴史的建造物については、以前の調査結果を活用しながら、調査を行う。祭礼や伝統行事などの無形民俗文化財について、次世代に残すために調査・記録保存をする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

種徳美術館・旧伊達郡役所の展示のため、考古資料・歴史資料・民俗資料等を調査した。
万正寺の大力や周辺整備に向け、周辺の大櫃遺跡の埋蔵文化財調査を行った。
開発に伴う埋蔵文化財調査：坊ノ内遺跡試掘調査

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後も未調査の有形文化財の調査や、企画展に合わせた資料調査を継続する。

状況を示す写真や資料等



絵図等の近代史料や蓄音機等の民俗資料を調査し、NHK連続ドラマ「エール」巡回展に合わせて展示公開



大櫃遺跡試掘調査(遺構・遺物ともに検出されなかった)。



坊ノ内遺跡試掘調査(遺構・遺物ともに検出されなかった)。

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
文化財の修理事業、文化財の周辺環境の整備事業、防災に関する取組など			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化財の修理や整備にあたっては、法令に基づき、また、文化庁等の関連機関の指導を受けつつ実施する。民間所有の文化財の修理にあたっては、補助金等の支援を行い、各種財団等の補助制度の活用を行う。文化財周辺の整備は、当該文化財や周辺環境との調和のとれたものとする。防火対策は、法令に基づいた適切な予防対策をとり、文化財防火デーの取り組みなどで文化財保護への関心を高める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・史跡桑折西山城跡では、文化財に親しむ取り組みとしてボランティア草刈りを行い、地元企業や町民が多数参加した(約130名)。 ・老朽化した旧伊達郡役所防災設備のポンプを交換した。 ・文化財防火デーの取り組みとして、重要文化財「旧伊達郡役所」で防火設備の操縦訓練を行った。 ・桑折町文化財保存会事業として、福島県沖地震で被災した未指定文化財等を復旧した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		地元住民の文化財に対する深い理解と多大なる協力のおかげで実施できている取り組みである。今後も継続して取り組んでいきたい。	
状況を示す写真や資料等			



旧伊達郡役所防災設備改修
老朽化した旧伊達郡役所ポンプを更新



旧伊達郡役所放水訓練
文化財防火デーに合わせて実施(令和3年2月6日)



桑折西山城跡草刈りボランティア(令和2年6月13日)
山城サミット桑折大会プレ大会の会場となる広大な城跡の
除草と
清掃を多くの町民参加を得て実施
参加者130名

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援や連携・協力した取組など			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	桑折西山城跡等の文化財について歴史講座を開催したり、歴史や文化財を活用したイベントなどを行い、認識を深める。パンフレットやマップ、案内板、ボランティアガイドなどを充実させる。文化財保護団体や伝統芸能団体への支援を行い、活発な活動を行えるようにする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
山城サミット桑折大会プレ大会 整備が進んだ史跡桑折西山城跡を題材に歴史トーク、城跡見学等を開催 種徳美術館企画展「伊達氏の城」 桑折西山城跡はじめ福島県、山形県、宮城県の伊達氏関係城郭資料を展示 旧伊達郡役所特別展「エール巡回展」 NHK主催の連続テレビ小説巡回展に合わせ、近代資料を展示。 エールプロジェクト「旧伊達郡役所ライトアップ」 旧伊達郡役所をライトアップし、イルミネーションを点灯、ミニコンサートも開催			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		整備が完了した桑折西山城跡や旧伊達郡役所、種徳美術館を活用し、事業を展開する。	
状況を示す写真や資料等			
			
NHK連続テレビ小説「エール」巡回展 於 旧伊達郡役所 令和2年8月28日～9月2日 来場者500人		全国山城サミット桑折大会プレ大会「桑折西山城ライブ2020」 於 桑折町民体育館・史跡桑折西山城跡 令和2年10月12日 参加者700人	
			
種徳美術館企画展「伊達氏の城」 令和2年9月15日～12月13日 来場者数 1,000人		エールプロジェクト第2弾「旧伊達郡役所ライトアップ」 於 旧伊達郡役所 令和2年12月21日～令和3年1月4日 ライトアップ、イルミネーション点灯 ジャズアンサンブルスイングモードミニコンサート	

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		評価対象年度	令和2年度
来年のサミット誘致宣言 桑折で全国山城プレ大会		令和2年10月13日	福島民報
2日まで桑折でエール展		令和2年8月29日	福島民友
七色に、初のライトアップ		令和2年12月21日	福島民報
伊達氏の足跡たどろう 種徳美術館各地の出土品並ぶ		令和2年9月18日	福島民友

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地元紙を中心に、文化財活用事業が取り上げられることで、本町の歴史的遺産や活用事業を広く周知することができた。特に、「全国山城サミット事業」は注目を集めることができた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	記事を読んでイベントに参加したり、歴史遺産等を訪れてみたくなるケースが多いので、事前・事後に記事にしてもらえよう、情報発信に努めたい。

状況を示す写真や資料等



桑折町の歴史遺産をPRし、来年度のサミット開催を呼びかける。桑折町は、桑折山城跡を模範としたNHKの朝ドラ「エール」のロケ地として、9月2日まで、桑折町の歴史遺産をPRし、来年度のサミット開催を呼びかける。

福島民報
令和2年10月13日



桑折町出身の作曲家古関裕而をモデルにしたNHKの朝ドラ「エール」のロケ地として、桑折町の歴史遺産をPRし、来年度のサミット開催を呼びかける。

福島民友
令和2年6月18日



桑折町の歴史遺産をPRし、来年度のサミット開催を呼びかける。

福島民報
令和2年12月21日



桑折町の歴史遺産をPRし、来年度のサミット開催を呼びかける。

福島民報
令和2年9月18日

項目		評価対象年度	令和2年度
観光入込客数の推移について			
計画に記載している内容	歴史的風致の維持向上を図ることで、町民の意識が向上し、観光を中核とした交流人口の増加が期待される。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
新型コロナウイルス感染症拡大による影響で観光客数は減少している。「全国山城サミット桑折大会プレ大会」の開催や史跡桑折西山城跡整備事業の進捗、桑折町種徳美術館、旧伊達郡役所での企画展、特別展等により、回復のきざしは見られたが、令和3年2月13日の福島県沖地震により旧伊達郡役所、桑折町種徳美術館が被災し、休館となったため、減少に歯止めをかけることができなかった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし	コロナ禍及び福島県沖地震の影響で、史跡桑折西山城跡や旧伊達郡役所、種徳美術館の来場者数は令和元年度を下回り、全国山城サミット桑折大会プレ大会も町内限定で行った。種徳美術館企画展時の美術館入場者数は伸びており、イベントのライブ配信の視聴者も3000人を上回っている。		
状況を示す写真や資料等			
			
令和2年11月14日 JR小さな旅 桑折町歴史案内人が桑折宿や旧伊達郡役所、陣屋の杜公園等を案内 参加者約30名		陣屋の杜公園では、写真愛好団体「サン・フォトこおり」会員によるミニ現地講座「上手な紅葉の撮影の仕方」を開催。	
桑折町の観光入込客数の推移 平成28年度 135,282人 平成29年度 114,240人 平成30年度 146,991人 令和元年度 112,010人 令和2年度 46,074人			
旧伊達郡役所入館者数 平成27年度8,881人、平成28年度10,256人、平成29年度5,594人、平成30年度10,397人、令和元年度3,906人、令和2年度3,090人			
桑折町種徳美術館入館者数 平成27年度2,064人、平成28年度2,679人、平成29年度1,606人、平成30年度1,899人、令和元年度1,822人、令和2年度1,559人			
桑折西山城跡来場者数 平成27年度405人、平成28年度370人、平成29年度486人、平成30年度804人、令和元年度1,939人、令和2年度700人			

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和2年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 桑折町歴史的風致維持向上計画推進協議会	
会議等の開催日時: 令和3年6月23日	
(コメントの概要) ○福島県沖地震により被災した歴史的建造物については、町の歴史的風致を構成する重要な建物であることから、状況把握や調査を行う等、関係団体と連携し、対応策を検討すべきである。	
(今後の対応方針) ・被災した歴史的建造物については、今後の対応方針について関係者と協議を進めていく。	